

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 6年 2月 21日

公表:令和6年 3月 1日

事業所名 児童デイサービス・アニマートさのほりごめ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	2	限られたスペースの中で活動等を工夫し、取り組んでおります。	限られたスペースですが、一人一人の安全性や機能性を考慮し今後も検討して参ります。
	2	職員の配置数は適切である	5	0		人員基準を満たしての職員配置をしておりますが、利用者様の安全に配慮してまいります。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	3		トイレは広くなり車椅子での使用も可能になっております。その他、手すりの設置や、玄関付近の整備を検討しております。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	0	利用者様一人一人の支援会議を行っております。	日々の中で(支援記録を記入する際等)目標に沿った内容で振り返りを行いその都度話し合いをしたり、毎日のミーティングや支援会議等で共通理解を図っております。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0		評価シートや保護者様からのご意見を真摯に受け止め、今後の業務改善につなげてまいります。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0	ホームページや、保護者会の資料にて集計結果を公表させていただいております。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	5		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	事業所内外で行った研修や支援に関する情報を、職員間で共有しております。	虐待防止研修を始め、職員研修(新人研修)を計画的に行っていく予定です。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	アセスメント用紙を変更いたしました。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	アセスメント用紙を変更いたしました。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	毎月、全職員で活動会議を行っております。	職員一人一人の意見を反映しやすい、風通しの良い職場作りに努めて参ります。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	中高生会議を開き、内容等話し合う場を作っております。	活動内容に偏りがないよう全職員で活動内容についての会議を行い、利用者様の実態把握を適切に行い、活動プログラムを作成してまいります。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	0		休日、長期休暇等は、所外での活動を多く取り入れ、長時間の滞在でも退屈せずに過ごせるよう工夫して参ります。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	集団活動の他、個別の状況に応じて対応しております。	一人一人の特性をふまえ、ニーズ等がしっかりと反映できるよう、会議等で検討して参ります。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0		支援前に、職員全員でその日の流れや活動内容、支援の方法等のミーティングを行っております。今後も、支援等を職員間で共通理解を図ってまいります。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	支援記録を記入する際に振り返りをし、翌日のミーティングにて共通理解を図っている。	その日のうちに振り返りを行い、翌日のミーティングでは課題等を共有し検討していくサイクルを続けて参ります。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	支援後に記録をつけ、振り返りを行っております。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0		半年に一度モニタリングの機会を設け、現状の把握、ニーズや課題の変更等に対応させていただいております。

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っている	5	0	会議でガイドラインの読み合わせを行い、理解を深めております。	高学年中心の事業所であることから、放課後デイサービス卒業後など、長期的な視点も含め活動等を検討して参ります。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	児童発達支援管理責任者が参加しております。	担当者会議に参加後、職員間で共通理解を図り、支援に繋げて参ります。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	0	送迎時に学校での様子を伺い、支援に繋げております。	学校より、下校時刻表をいただいております。送迎に不手際がないよう、調整を行って参ります。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	4		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	0	相談支援事業所より情報を提供して頂いております。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	0		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	0	関係医療機関の先生より助言等を頂いております。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	5		感染症対策や個人情報を考慮し、必要に応じて検討してまいります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	3		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	お迎え時やリム(連絡帳)を通じて日々の支援内容をお伝えしております。	今後ともご家庭での様子やその時の状況を把握し、寄り添う支援になるよう心掛けて参ります。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	0		研修内容や成功例などをお伝えし、対応に活かしていただけるよう保護者様にお伝えして参ります。また、支援方法を共通理解できるようにして参ります。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0		ご契約の際や更新でのお手続きの際に分かりやすくお伝えして参ります。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0		事業所内相談の場を設けております。一緒に考えていきたいと思っておりますのでお声掛けいただければと思います。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	1		今年度も保護者会を予定しておりましたが、感染症の拡大の為見合わせることとなりました。より充実した保護者会となるよう、内容等を検討して参ります。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	対応した職員が管理者、他職員に伝達し、共通した対応が適切に行えるようにしております。	職員間で連携をとり、ご対応の遅れがないように注意して参ります。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	年に4回のお便り(活動の様子)や、長期休み前のお知らせ(持ち物等)を発行しております。	
	35	個人情報に十分注意している	5	0		個人情報の使用や開示について細心の注意を払い厳重に対応して参ります。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0		帰りの事業所送迎を利用されている方には、事業所での様子やお知らせ等がしっかりと共有されるよう、情報の伝達の方法を検討して参ります。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	0	新型コロナ感染防止策を行いながら、ファミリーコンサートを開催し、利用者様の知人・友人の方を招待しております。	今後も感染対策を行いながら、皆さまと一緒に参加いただける場を作っていけたらと思っております。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	1		マニュアルの周知・説明を行って参ります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0		年に2回、避難訓練週間(月～金)を開催しております。また、年に1回消防署の方による消火訓練、洪水に関する避難訓練を実施しております。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	研修を行い、共通理解を図っております。	虐待防止・権利擁護についての読み合わせや事例検討を定期的に行って参ります。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	0		保護者様と面談を行い、必要に応じて同意を頂き個別支援計画書に反映させていただきます。また、その都度ご説明させていただきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0		アセスメント時に確認し、全職員に確実に周知し、正しく対応が出来るようにしてまいります。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	全職員で再発防止等の話し合いを行っております。散歩コースのヒヤリハットマップも作成しております。	引き続き、ヒヤリハット事例を共有し、事故防止、再発防止に努めて参ります。